

理学療法科

科長 塩田 直隆

人員体制

2023年は理学療法士31名体制でスタートし、一般・地域包括ケア病棟には10名、回復期リハ病棟には17名、外来には3名を配置し新人4名を採用しリハビリサービスを提供した。

実績

365日より良いリハサービスを提供できる体制に努めてきた。新型コロナウイルスの影響は軽減され入院・外来ともに患者数は増加傾向となった。また、実施単位数の月毎のばらつきは昨年と比べ少なくなった。(図1)。内訳では一般・回復期病棟で患者一人当たりの介入単位はそれぞれ平均2.4単位と2.9単位のサービスを提供(図2)。地域包括ケア病棟では患者一人当たりの介入は平均2.4単位のサービス提供であった(図3)。外来については1ヶ月平均500名の患者さんに対し一人当たり2.0単位のサービス提供をすることができた(図4)。結果、昨年と比べ入院は4664単位、外来は430単位の増加となった。入院のリハビリ対象者の年齢別では65歳以上が79%を占め、そのうちの75歳が71.8%であり、90歳以上は14.7%を占めており高齢者の入院が多くなっている(図5)。入院患者理学療法施行による診断内訳は図6に示す通りである。

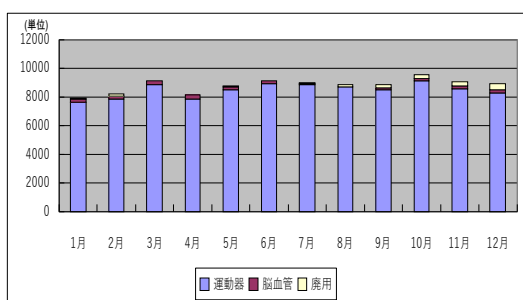


図1 リハビリ月別実施単位数

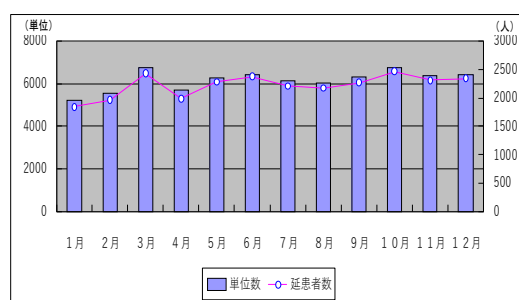


図2 一般・回復期病棟実施単位数と延患者数

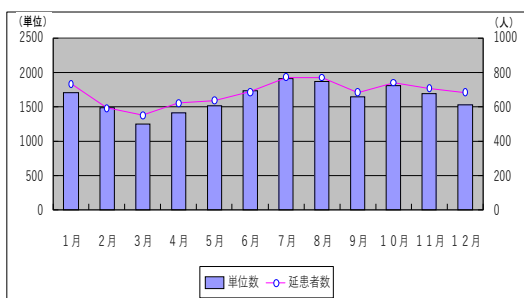


図3 地域包括ケア病棟実施単位数と延患者数

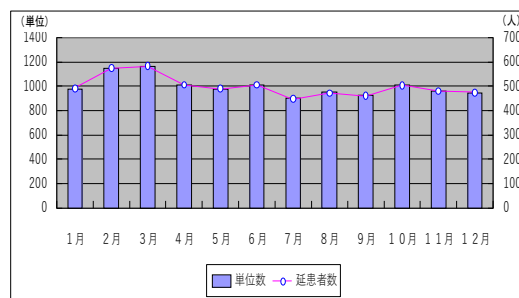


図4 外来リハ実施単位数と延患者数

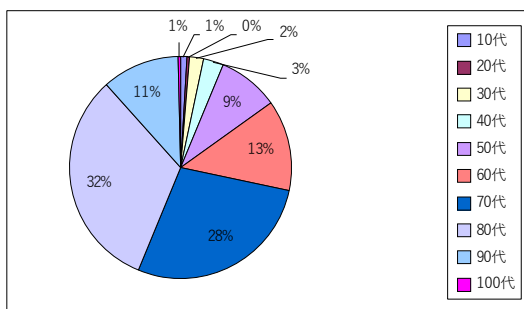


図5 年齢別内訳

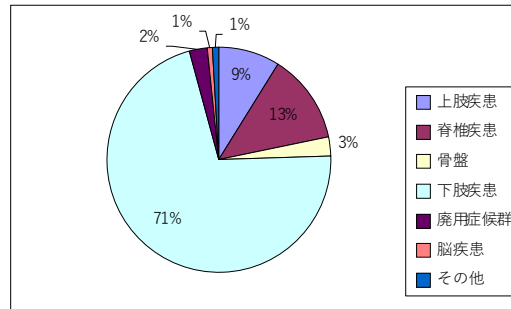


図6 疾患別内訳

2024 年度の方針

昨年までは整形外科疾患を中心にサービスを提供していましたが、新たな病院編成に伴い、様々な疾患にも対応したリハビリテーションサービスを行っていく。その為に、個人のキャリア開発をクリニカルラダーを使用し知識や技術を共有しながら取り組んでいく。また、院内での勉強会も行いながら全体のスキルアップを図っていく。感染対策においてはコロナ感染が完全終息宣言されるまでは引き続き行い、安心・安全な医療を提供していく。